



# 五 和

上野原西小学校 学校だより 文責 森 卓弥  
令和7年12月22日 №.8 Tel 66-3922

## 学校教育目標

- よく考える子
- 自他を尊重し思いやりのある子
- ねばり強い子
- 心身ともに健康な子

12月1日（月）から5日（金）までの一週間、児童会役員が中心となって「あいさつ運動」を行っていました。

冬の訪れとともに気温が下がり、登校時にはつい下を向いて歩いてしまう子どもも増えてきます。そうなると、子ども同士のあいさつや、職員との朝のあいさつが少なくなるなど、学校全体の雰囲気にも影響が出てきます。表情が見えないと、「元気がないのかな」「声をかけにくいな」と周囲が心配してしまうこともあります。あいさつや表情は人と人との関わりのうえでとても大切だと改めて感じさせられます。



そんな中、子どもたち自身も状況を感じ取っていたのでしょうか。12月に入ると児童会役員が玄関に立ち、元気な声で登校する児童にあいさつを始めてくれました。明るく元気なあいさつの声が広がるにつれて、登校する子どもたちの表情も自然と明るくなり、西小らしい、気持ちのよい朝の雰囲気が戻ってきました。

季節の変化や体調・気持ちの波など、子どもたちそれぞれに様々な事情があることだと思います。しかし、自分の心と身体の状態を大切にしながらも、人と関わるときに少しだけ視線を上げる、声を出してあいさつを交わす、といった小さな行動が、学校全体の温かい空気をつくっていきます。

2学期も残りわずかとなりましたが、これを機に、子どもたちが「あいさつの気持ちよさ」を感じながら、これからも元気に学校生活を送ってくれることを願っています。

## 2年生がまち探検に行ってきました!

2年生は生活科の学習の一環として、学校給食共同調理場と、地域で野菜を栽培している農家のの方の畑を見学しました。



まず学校給食共同調理場では、子どもたちが毎日食べている給食が、どのような場所で、どのような工程を経て作られているのかを見学しました。大きな鍋や調理器具に驚きながら、たくさんの料理をてきぱきと調理している様子に目を輝かせていました。また、「衛生管理がとても大切」「髪の毛やほこりが入らないようにする工夫」など、食の安全を守るために多くの工夫があることも学ぶことができました。次に訪れたのは、地域で野菜を栽培している農家のの方の畑です。広い畑に並ぶ大きな白菜や畑いっぱいに広がる緑を目の前にしながら、季節によって育てる野菜が変わること、天候によって育ち方が変わることなどを直接お話しいただきました。



今回の見学を通して、給食を支えてくれている人・地域で食べ物を生み出している人の思いや努力に気づき、身近な地域の良さを知ることができました。子どもたちにとって、生活と地域がつながる貴重な学習となりました。これから的生活科の学習にもつなげながら、地域への関心をさらに深めていければと思います。

# 褒め褒めウィーク！

先月、友達や先生、学級のみんなへの「ありがとうの気持ち」や「素敵なところ」に気づいたらメッセージを書いて全校に大きな花を咲かせましょうという取組が行われました。

一つ一つの花には、「勉強をわかりやすく教えてくれてありがとう」「困った時に声をかけてくれてありがとう」「いつも優しくしてくれて感謝しています」「どんなことにも頑張っていて素敵です」「一緒に遊んでくれてありがとう」など、たくさんの心温まる言葉がありました。



## もうすぐクリスマス！

1年生の教室前の廊下には、1学期に育てたアサガオのツルを乾燥させてリース状に丸め、思い思いの飾り付けをして作ったクリスマスリースが並んでいます。飾り付けには「こんなリースにしたい」「家族に見てもらいたい」といった子どもたちの気持ちが込められており、どれも世界に一つだけの作品になっています。



## 子供主体の授業への転換に向けての学習会！

山梨県では、「子供主体の授業への転換」を目指し、各学校がさまざまな工夫を重ねながら授業改善に取り組んでいます。

この「子供主体の授業」とは、先生が一斉に説明し、同じ答えを求める授業ではなく、子供たちが「なぜだろう」「どうしたい」「どの方法で取り組むか」を自分で考え、友達と比べたり話し合ったりしながら、学びを深めていく授業のことです。

本校でも、指導主事に授業を参観していただき、助言を受けながら授業改善に取り組んでいます。授業の中では、子供たちが考えを深めるために、必要に応じて友達と意見を交流したり、学び合ったりする場面も設けています。そのため、学習の目的に応じて席を移動し、友達と一緒に考える活動を行うこともあります。



### 最後に

今年も一年、西小学校へのご理解とご協力、誠にありがとうございました。来年も子どもたちのために、教職員一同、力を合わせてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。